

「お菓子放浪記」をミュージカル公演 ^{かたやま}片山 ^{みほ}美穂さん(46)

孤児が戦中、戦後を生き抜く作家西村滋さんの自伝的小説「お菓子放浪記」をミュージカル舞台化、公演のため自らプロデューサーを務め奔走する。「作品力が勝負です。心に訴える内容になったと思います」と自信を見せる。

7年前に気軽に買って読み「涙が止まらないほど」胸に響き、西村さんに手紙を書いて舞台化の許しをもらった。メインの戦中編は映画やテレビドラマ化で知られるが、本は続編、戦後編もある3部

作。「まとめて舞台化します。すべてに世の中を見る西村さんの本音がちりばめられています」。脚本、演出は舞台「はだしのゲン」で知られる木島恭さんが引き受けた。「手紙と本を送ったらすぐOK。西村さん同様ハートで仕事をする人ですね」

西村さん原作の一人芝居は経験あるが、今回は俳優、裏方含めスタッフ30人余の大所帯。資金は個人の借金で「ギャラも少ないのに呼び掛けに根っからの芝居好きが集まっ

この人



てくれて…」とうれしそう。報道カメラマンを目指したが、レ・ミゼラブルの舞台に感動、大学を出て前進座で学び役者の世界へ。東京公演は10月2、3日に江東区亀戸のカメリアホール。(小寺勝美)